

# 病院独自採用職員のキャリアパスについて

45歳～	課長・課長補佐	・本人の希望・上司等の評価、これまでの経験部署、院内の状況、適性に応じた配置
------	---------	--



30代後半～45歳	掛長	・本人の希望・上司等の評価、これまでの経験部署、院内の状況、適性に応じた配置
-----------	----	--



30歳～	主任・掛員	・これまでの経験部署、院内の状況に応じた配置 ⇒ 業務遂行の主体的役割、教育・指導、企画・提案、改善 ・事務本部、デパートメントオフィス(旧部局、共通事務部)に異動させ、経験や知識を病院に還元させる
------	-------	--

適性に依じて他課への異動もあり

(異動2回目)	掛員	医務課・医療サービス課経験者	総務課 経営企画・管理課 臨床研究戦略課 経理・調達課
		医務課・医療サービス課未経験者	医務課 医療サービス課

(異動1回目)	掛員	医務課・医療サービス課経験者	総務課 経営企画・管理課 臨床研究戦略課 経理・調達課
		医務課・医療サービス課未経験者	医務課 医療サービス課

入職後概ね4～5年後

入職後概ね3年後

新採	掛員	・新卒 ・既卒(他院での医事系業務未経験者)	医務課もしくは医療サービス課 ※2課で2部署経験させる
----	----	---------------------------	--------------------------------

新採	掛員	・既卒(他院での医事系業務経験者)	原則、医務課もしくは医療サービス課に配置するが、 欠員状況等により、他課・室への配置も可能
----	----	-------------------	--

**【キャリアパスのポイント】**

- ①キャリアのスタートは医事系(医事課、医療サービス課) ⇒ 「病院業務の基礎」を身に付ける
- ②総務課、経営企画・管理課、経理・調達課への異動 ⇒ 医事系の知識を活かし、病院内他部署を経験する
- ③これまでのキャリア・配置部署を勘案した異動・主任への昇任 ⇒ 中堅職員として、業務の中核を担うとともに、部下の育成を担う
- ④適性・希望に応じた課へ異動⇒病院全般の業務を把握した上で、掛のマネジメントのみならず、病院の運営、企画に参画する